

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

新年あけまして

おめでとーうございます



2017年は1月早々から激動の年となりそうです。1月20日には通常国会が開幕します。2025年を目指した政府の「経済・財政再生計画」の44の改革項目のうち、2017年通常国会には法案提出予定の医療・介護改悪法案が5本も予定されており、また実施を指すものが4項目に及んでおります。年金制度も改悪され、高齢者のみならず全ての世代にとって負担増がおしかかってきます。

アメリカのトランプ新大統領の安全保障政策や経済政策は予断を許しません。世界中で貧困と格差が広がり、怒りと不安が渦巻いています。行き過ぎた資本主義の負の結果が世界を席卷しています。2017年の世界情勢は暗雲が立ち込めてきそうです。

日本においてもデフレ脱却を公言したこの4年間の安倍内閣の実績は幻想に終わっており、今年中には解散総選挙を公言している安倍総理の強引な政権運営は、国民の旺盛な運動によってしか歯止めをかけられません。何としても安倍自民党内閣を終わらせねば、ますます国民の生活は苦しくなります。

厳しい情勢が予想されますが、夏の都議会議員選挙やいつ解散総選挙になっても対応できるように、日頃の地道な地域運動を進めて行きましょう。希望を持って情勢を切り開く年となるように頑張ってください。



東京社会保険推進協議会

会長 竹崎三立

2017年 元旦

怒りの座り込み

年金・医療・福祉の充実で 安心して暮らせる老後を

日本高連・都老協

「年金・医療・福祉の充実で安心して暮らせる老後」を求め都老協・日本高連の共催で、12月14日より3日間厚労省前で座り込み行動を行いました。

座り込みの冒頭に、来年度予算編成にからめて17項目の要求を厚労省に提出しました。その内容は、生活保護の老齢加算復活や医療費の一部負担の減額、介護保険制度の改悪など社会保障制度全般の大改悪をストップすること等です。

座り込み開始宣言を、藤谷恵三日本高連事務局長が行い、国会最終盤での座り込みへの支援と協力の訴えを行い、座り込みを行いながら通行人に対して支援・協力のビラ配布などを行いました。この3日間の行動には、日本共産党国會議員11名をはじめ、労働組合や民主団体、文化人や青年、通りすがりの人など77人（名簿未記載多数）が激励に駆けつけていただきました。

12月16日11時より終結式を行い、城田尚彦都老協会長が「高齢者が座り込みなどしなくてもよい社会を目指して頑張ろう」と挨拶し、高齢者はあきらめない、「座り込み宣言」を参加者全体で確認して座り込みを終了しました。

なお、この行動は会場設営など、東京土建葛飾支部・葛飾社保協の多大なご協力と支援で予定通り実施することができました。



（都老協 坂本 光治）

各地域・団体の取り組み

豊島社保協

豊島社保協は、9月21日に「総合事業学習会」を開催し23人が参加しました。

2016年4月から、豊島区での「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されましたが、区の事前説明と実態に大きな違いがあることが、5月の社保協総会で明らかになり、それを受けて今回の学習と交流の開催となりました。

豊島社保協として、学習交流会の開催前に現状を把握しようと介護事業所向けの事前アンケートに取り組みました。その結果、利用者にとっては自己負担額が減る一方で、利用回数の制限が設けられたり、以前と同じサービスを受けられなくなるといっ



た状況があることがわかりました。また、「サービス提供量」が変わらないのに「収入が減った」と同じサービスを提供しても収入が減ってしまったことや「実際に、要支援1・2のサービス提供を断らなければならぬケース」など本来に良い介護サービスの提供が出来なくなっている実態が明らかになりました。

学習交流会では、総合事業だけでなく、申請から認定までの期間が長期化し（受理から30日以内）結果的に自費サービス扱いにしなければならぬケースや、今まで通りの利用が出来なくなることなど、利用者・家族だけではなく、事業者まで困っている実態が報告されました。また、区議からは「国の基準と変わらない」「利用者が利用方法にあわせての支払いになり喜んでいる」という区の説明と実態がかけ離れている。との報告もありました。

（豊島社保協通信12月号より）

目野社保協

昨年11月20日、「貧困ノ、安心の暮らしを求める交流集会」

が、日野社保協の呼びかけで結成された同実行委員会（代表…東京土建日野支部委員長奈良晴義さん）の主催で開催されました。集会の案内を市の「広報」にも掲載した関係もあり、民生委員や介護施設の職員など幅広い人たちを含め、参加者は予想を上回る60人にのびりました。

基調講演として、山形大学准教授の戸室健作さんの「子ども貧困とワーキングプア」のDVD上映を行いました。

「貧困打開へ、今何が必要か」をテーマにしたシンポジウムでは、弁護士の木村真美さんが「子どもに関心をもち、食事や学習の場の提供など、できることに取り組み、公的な支援策を



求める声をあげよう」と報告。守る会の大木莊吾さんは、「高齢者の貧困は自己責任ではなく、医療・介護・年金・生活保護など社会保障の貧しさにある」と指摘しました。東京土建日野支部の百瀬文治さんは「国や自治体が建設業者に発注する公共事業に最低規制がなく、ダンピングで低賃金や長時間労働が横行している。日野市で公契約条例の制定を」と訴えました。

会場からは、「市内にも食事に事欠く子どもたちがいる。給食の無償化が必要」「介護職員の低賃金の解決を」などの意見や提案が相次ぎました。

集会をふまえて、実行委員会は12月9日に大坪冬彦日野市長あてに「学校給食の無償化」など6項目の「貧困対策に関する要望書」を提出しました。

集会に参加した若い女性は、「日本の貧困について考え打開策を講じよう」としている人達がいることをこの集会で知った」と感想文を寄せてくれました。

日野社保協では、貧困打開へ市民との交流・共同の取り組みを今後も強めていこうと話合っています。

（実行委員会ニュースより）

東京地方自治研究集会

12月11日、第11回東京地方自治研究集会が明治大学で開催され、1015人が参加しました。

隔年で開催される東京地方自治研究集会ですが、事務局を担う東京自治労連をはじめ都内で運動している59団体が1年余の期間をかけて準備してきたものです。

午前は、黒田兼一実行委員長（明治大学教授）の挨拶ではじまり、記念講演は渡辺治一橋大学名誉教授の「安倍政権の新段階と対抗する運動の課題・日本と東京をめぐる2つの道」と題した講演が行われ、「改憲反対が世論の多数で、私たちの運動を強めれば改憲は出来ない」「私たち一人一人が政治を動かす主人公になろう」と力強く講義しました。

その後、喜入事務局長が基調報告を行い、午後からは、「東京の医療・介護・福祉」



「保育・子育て」「自治体民営化の現状と課題」など10の分科会で500人余が参加して、あるべき都政の姿に向け活発な意見交換が行われました。

（東京自治研ニュースより）

オスプレイ配備反対集会

11月23日、米軍のCV22オスプレイの東京・横田基地配備に反対する集会が、福生市・多摩川中央公園で開催され5000人が参加しました。

主催者あいさつに立った森田稔東京地評議長は、「横田基地には、米空軍の特殊作戦用のオスプレイ10機が来年から配備されようとしています。配備阻止に向けて幅広い市民・団体と力を合わせ、オール東京のたたかいを追求したい」と呼びかけました。

リレートークでは、「横田の米軍機の飛行回数は年間1万2千回に及び、1時間に20回の飛行も常態化している」など基地被害が年々深刻さを増していることが報告されました。



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
 - 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



医療・介護大運動交流集会

12月8日、中央社保協主催の医療・介護大運動交流集会を参議院講堂で開催し、13団体・23都道府県から80人が参加しました。

集会は、住江代表委員が開会あいさつを行い、芝田英昭立教大学教授が「2017年医療・介護改革の行方」と題して講演を行い、2017年通常国会へ法案提出が予定されている「医療・介護改悪法案」の内容とその狙いについて学びました。

山口事務局長が、「医療・介護大運動」の到達と課題について報告し、各団体・各県の取り組み報告が11人から行われました。

集会のまとめでは、各地域で共同行動を広げることや国会へのたたかいを強化することが強調され、寺川代表委員が閉会あいさつを行い閉会しました。



介護をよくする東京の会総会・学習会

日時 1月22日(日)12:30~

会場 日本医療労働会館会議室

講演 林 泰則氏(全日本民医連)
安達 智則氏(東京自治問題研究所)

主催：介護をよくする東京の会

全国代表者会議

日時 2月8日(水)11:00~

会場 衆議院第二議員会館
多目的会議室

主催：中央社保協

無料 国保・医療なんでも電話相談会

～ 滞納・差押え110番 ～

2017年 2月26日(日) 午前10時～午後5時

 **0120-110-458**

医師、看護師、弁護士、ケースワーカーなど 窓口負担心配で病院いけない
専門家が相談にお答えします

国保料や窓口負担の免除、減額など負担軽減が出来る場合があり、まず、無料相談に電話ください。


年金が差押えされたらどうしたらいい?

年金減ったのになんで国保料上がるんだ!

窓口負担心配で病院いけない

国民健康保険加入のみなさん
国保料(税)が高くて困っている、
差押えをされそうだ、など相談はお気軽に

主催：「国保・医療なんでも相談会～滞納・差押え110番」実行委員会
自由法曹団東京支部、東京保険医協会、東京民医連、東京地評、東京医労連、東京土建、東商連、都生連、東京自治労連、東京社保協

連絡先 東京社保協 Ta.03(5395)3165 fax03(3946)6823  東京社保協 検索